

# コミュニティしまつやま

第14号（平成27年3月16日発行）

発行：松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

住所：酒田市地見興屋字前割9-4

電話：0234（62）2942

## 26年度を振り返って

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

会長 齋藤 勝

### 【市民体育祭】

酒田市との合併後「松山」チームとし9回目の参加となった第42回酒田市民体育祭。これまで以上の成績をと臨みましたが、結果は24チーム中14位でした。それでも、跳び賞で姉妹都市気仙沼市からの「カツオ」を獲得しました。

### 【巡回駅伝】

11月9日に開催された第9回巡回駅伝大会では、過去最高の成績を上回ることは出来なかったものの、21チーム中第3位という成績を収めました。

### 【視察研修】

11月28日に「コミュニティ連絡協議会（以下「コミ振連」）が発足して5年を迎え、他地区のコミュニティ振興会の運営や活動を研修し、これからの活

動の参考にすることを目的に、鶴岡市の「京田コミュニティ防災センター」を視察しました。敬老会や公演会、交流の場として幅広く活用されている大きなホールと囲炉裏のついた談話ホールが羨ましく感じられました。組織の運営については、平成18年から指定管理者制度により京田地区自治振興会が、市からの委託料と交付金、そして各戸からの会費を受けて行っています。会長以下、事務職員（臨時含む）3人で運営や活動にあたり、組織は、町内会（12）や団体（22）で構成されていました。特色は、生涯学習事業、体育スポーツ事業および地域づくり事業の実施組織は、専門部会でなく実行委員会形式で企画・実施しているという点です。理由は、部会だと意見を十分に発言できないこと、団体で順送り部員が選出されていることで事業に対する取り組み差異が生ずるので、実行委員会にして自治会長推

薦や一本釣りすることによって、自治会長と地域とのネットワークがより強固になっていくのではないかとということでした。事業については、内容は違えども青少年から高齢者まで各世代の事業でした。その中で鶴岡らしいものは「磯釣り大会」と「合同七つ祝い」でした。感じたことは、世帯数や人口などが大きく異なり全てが参考になるわけではないが、今回の研修を機にこれまでに以上にコミュニティ振興会が地域とより多く関わった事業を展開していくことが必要ではないかと思ったことでした。

### 【おわりに】

26年度各コミュニティ振興会でも多くの事業を展開しながら、コミ振連の事業にも参加いただき、大変ありがとうございました。これからも地域のコミュニティ振興会への事業参加、併せてコミ振連へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

幅広く活用されている「大ホール」



### 【視察研修】

H27. 11. 28

京田コミュニティ防災センター



玄関を入れて正面のいろり付きの「談話ホール」では、ちょっとした会議が可能。便利なスペース。